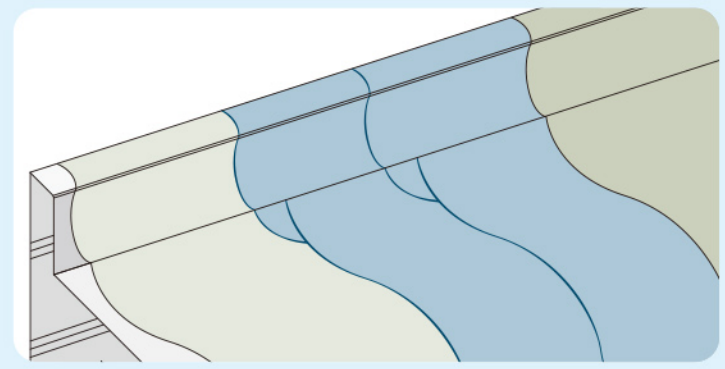
あてはまるものに
チェックしてください。

Check 4　現状が『塗膜防水面』の場合

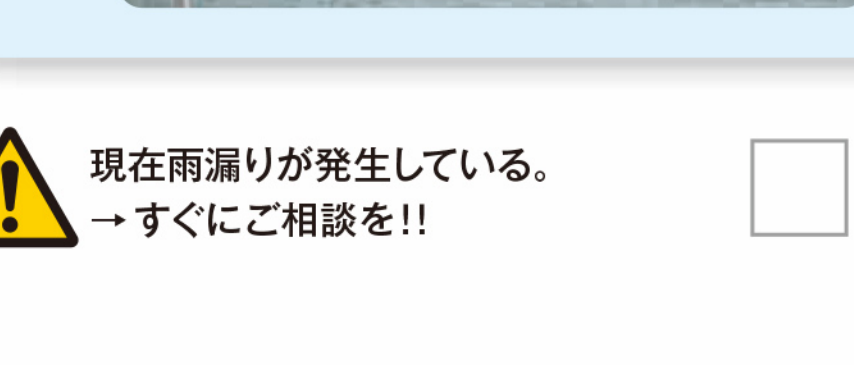
既存ウレタン塗膜防水のイメージ



現在雨漏りが発生している。
→すぐにご相談を!!　☐

Q1 防水改修を行わず、10年以上経っている。　☐

Q2 全体的に白っぽく、粉をふいている。　☐


塗膜の減耗・チョーキング

Q3 防水層が削れて下地が出てしまっている。　☐

塗膜の減耗・下地の露出

Q4 下地にひび割れが発生し、塗膜も一緒に切れている。　☐

塗膜防水の破断

Q5 塗膜の一部がふくれている。　☐

塗膜防水のふくれ

Q6 外周の腰壁面（立上り面）の上面（笠木面）にひび割れが見られる。　☐

笠木部のひび割れ

Q7 防水層の一部で破れている箇所がある。　☐

塗膜防水の損傷

あなたの建物の防水層は大丈夫でしょうか。
もしこのチェックで不具合箇所に不安がある場合は、防水の専門家による調査・診断をご依頼ください。

判定

- チェックが1～2項目……点検・清掃をしながら、経過を観察しましょう。
- チェックが3～4項目……要注意です。専門家に防水診断を依頼しましょう。
- チェックが5項目以上……防水改修の必要性が高いと思われます。改修計画の立案を検討しましょう。

防水用語一口メモ　※チョーキングとは ： 塗膜防水の表面が紫外線・熱・水分・風等により劣化し、塗膜の色成分の顔料がチョーク（白墨）のような粉状になって削れる現象。